

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	36213	
事業名	交通施設計画推進費						
評価担当課	所属名	政)総合交通計 交通計画課					
	課長名	荒木 敏光	担当者名	高桑 謙	電話番号	211-2275	
施策名	主	持続可能な都市を支えるネットワーク___1__交通ネットワーク					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	安全・快適な交通施設環境の創出のため、バリアフリー基本構想改定に向けた検討やバスターミナルのあり方検討、乗継施設の検討を行う。				
		長期	道路、乗継施設、駐車施設などの各交通施設等における利便性の向上を図るとともに、安全・安心で快適な交通環境を目指す。				
	取組内容	都心・拠点等における交通施設計画に係る検討を行う。 ①バリアフリー施策に係る調査検討(バリアフリー基本構想改定に向けた検討業務) ②自転車施策に係る調査検討(自転車利用環境に係る調査・検討) ③乗継施設等に係る調査検討(バスターミナルのあり方等に係る調査・検討) ④札幌駅周辺交通施策の調査検討(交通基盤検討) ⑤交通施設の耐震検討(地下街等の耐震化に係る調査・検討)					
実施結果	①令和4年6月の札幌市バリアフリー基本構想2022の改定に向けて改定素案を作成した ②自転車活用推進計画の策定に向けて計画案を検討した ③真駒内駅前地区の交通結節機能強化に向けて検討した ④札幌駅周辺の開発に向けた交通基盤整備に係る調査・検討を実施した ⑤地下街アピアの耐震化に関する調査の実施に向けて施設管理者等と協議を実施した						
事業実施における工夫点	各業務について、専門的なノウハウを有するコンサルタント等に委託し業務を実施するとともに、国の社会資本整備総合交付金等を活用しながら事業を推進している。						
対象者	市民、来街者、公共交通利用者、自動車利用者等			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	「交通政策基本法」「道路法」「都市計画法」「駐車場法」「自転車活用推進法」 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」						
他都市の状況	・自転車活用推進法の制定(2017年5月施行)やバリアフリー法の改正(2018年11月、2020年6月施行)を受けて、他都市においても関連計画の策定等に向けた動きがある。						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	30,326	47,000	20,945	45,000	
うち特定財源	7,000	6,100	5,100	9,000	
人工	6.0	6.0	6.0	6.0	
人件費	43,200	43,200	43,200	43,200	
計(事業費+人件費)	73,526	90,200	64,145	88,200	
事業費の内訳	令和3年度決算	①バリアフリー施策に係る調査検討 1,656千円 ②乗継施設に係る調査検討 2,000千円 ③札幌駅周辺交通施策の調査検討 15,972千円 その他 1,317千円			
	令和4年度予算	①バリアフリー施策に係る調査検討 5,279千円 ②自転車施策に係る調査検討 1,050千円 ③乗継施設に係る調査検討 10,821千円 ④札幌駅周辺交通施策の調査検討 24,000千円 ⑤JR駅の耐震検討補助 2,500千円 その他 1,350千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	駐車場基本方針策定			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	-	-	-	-	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	新・札幌市バリアフリー基本構想改定			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	-	改定	-	改定	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	①令和4年6月の札幌市バリアフリー基本構想2022の改定に向けて改定素案を作成した ②自転車活用推進計画の策定に向けて計画案を検討した ③真駒内駅前地区の交通結節機能強化に向けて検討した ④札幌駅周辺の開発に向けた交通基盤整備に係る調査・検討を実施した ⑤地下街アピアの耐震化に関する調査の実施に向けて施設管理者等と協議を実施した			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	①バリアフリー基本構想の改定により、一体的、効果的に重点整備地区のバリアフリー化を推進する ②自転車活用推進法の主旨に基づき、地方版自転車活用推進計画を策定することで、自転車利用環境の整備を総合的に推進する ③真駒内駅前地区のまちづくりと一体的に、官民連携で交通結節機能を強化する ④札幌駅周辺のまちづくりと一体的に官民連携で交通基盤整備を推進する ⑤交通施設事業者への補助により耐震化等による安全性向上を推進する ⑥交通施設事業者への補助により耐震化等による安全性向上を推進する 専門的なノウハウを有するコンサルタント等に委託して業務を実施するなど、効果的・効率的な事業執行に努めた			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	①②③アンケートの実施などを通じて、市民や地域住民のニーズを把握して検討を進めた ④札幌駅周辺利用者のニーズに対応するため、有識者、交通事業者等からなる検討会により検討を進めた ⑤地下街利用者の安全確保の観点から事業の早期実現に向けて施設管理者と調整を進めた			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	①②③アンケートの実施などを通じて、市民や地域住民のニーズを把握して検討を進めた ④札幌駅周辺利用者のニーズに対応するため、有識者、交通事業者等からなる検討会により検討を進めた ⑤地下街利用者の安全確保の観点から事業の早期実現に向けて施設管理者と調整を進めた			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応 <input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映		
今後の改善点	なし				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	札幌市バリアフリー基本構想の令和4年度改定に向けた検討など、都心・拠点等における交通施設計画が着実に進められているため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 交通施設利用者の利便性向上に向け、国などの最新の動向を反映して計画や施策の検討を進める。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 交通施設利用者の利便性向上に向け、適切な予算による検討を進める。		見直し効果額	0 千円